

# 空気循環式紫外線清浄機

殺菌灯(空気循環式紫外線清浄機)

## 強力な紫外線でカビや菌を除去、クリーンな衛生環境をつくります。

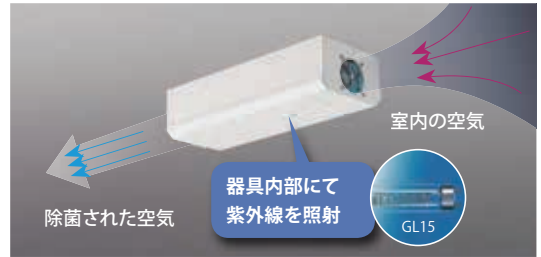
直接、紫外線を照射するのではなく、室内の空気をファンで循環させながら除菌する方法です。内部で紫外線(253.7nm)を照射するため、紫外線が目に入るなどの人体に対しての紫外線の影響が全くありませんので、常時連続運転してクリーンな室内環境を維持することができ、清潔・快適環境を提供します。

### ■ おすすめ用途例

食品工場・レストラン 学校 病院・医療施設 家畜飼育場 電子工場

### ■ 主な特長

<b>強力な除菌力を発揮します。</b> 従来品と比較し実質風量を約2.5倍にアップ。より多くの空気を処理します。	<b>人体に対しての影響がありません。</b> 人に直接紫外線が当たらないので安全です。また薬剤を噴霧する除菌手法でないため、人やその他室内の品物に影響を与えません。	<b>ランニングコストに優れています。</b> ランプの寿命は8000時間と長寿命。連続使用で約1年近く交換する必要がなく非常に経済的です。	<b>食品の品質・保存性を向上させます。</b> 空間がクリーン状態となり、食品の品質向上および保存性を向上させます。
--	--	---	--



### ■ 循環試験データ

空気循環式紫外線清浄機を運転することにより、浮遊菌をどの程度除去できるかを試験チャンバーを用いて評価を行いました。評価方法は、日本電機工業会規格JEM1467「家庭用空気清浄機」の付属書D「浮遊ウイルスに対する除去性能評価試験」を参考。

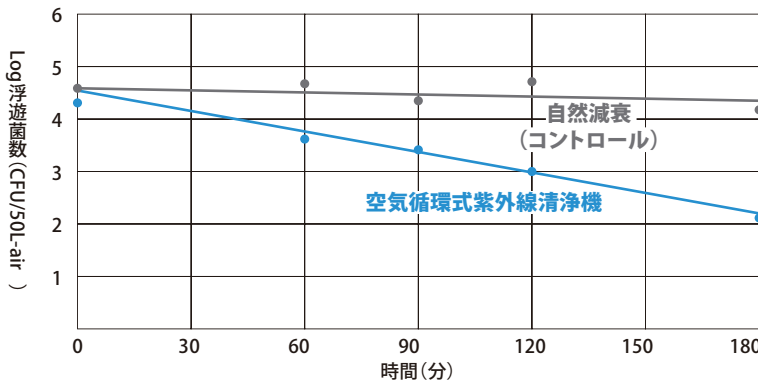
#### ● 試験概要

室内容量25m<sup>3</sup>[床面(3.3m×3.5m)×高さ2.2m]チャンバーの中央に空気循環式紫外線清浄機を設置しネブライザーで試験菌液を噴霧して攪拌ファンで浮遊させ、経過時間毎にインピンジャーで吸引し浮遊菌を捕集。捕集液または希釈液をTSA培地との混積平板とし、36±1℃で48時間培養  
試験菌: Bacillus subtilis ATCC6633(枯草菌芽胞)  
試験依頼先: 一般財団法人 北里環境科学センター(報告書番号: 北生発 26\_0309号)

#### ● 経過時間ごとの浮遊菌数 (CFU/50 L-air)

試験条件	時間(分)					
	0	30	60	90	120	180
自然減衰(コントロール)	41,000	2,000	48,000	26,000	58,000	17,000
空気循環式紫外線清浄機(15W 2灯)	22,000	22,000	4,900	2,800	1,200	150

#### ● 試験室内の浮遊菌数の推移



#### ● 空気循環式紫外線清浄機の設置容量目安(台数選定の参考)

・1台...室内容量 100m<sup>3</sup>

※環境として浮遊菌の増殖などがなく、外部との空気の入れ換えがない、空調などにより空気が攪拌されている条件下で空気循環式紫外線清浄機を半日(12時間)連続運転し、枯草菌が1/100になると推定した参考容量です。したがって実際の環境とは異なる場合がありますのでご了承ください。

※上記循環試験データからの弊社推定

#### 空気循環式紫外線清浄機

GL15W×2



GT-15402-GL17 (50Hz/60Hz共用) **NEW**  
53.1W (50Hz) 45.2W (60Hz)

仕様 本体:鋼板 t0.6 ホワイト  
反射板:アルミ t0.5 鏡面仕上  
質量:6.6kg  
適合ランプ:GL15×2本付  
備考 空気循環式  
設置目安...1台につき室内容積100m<sup>3</sup>

この他、お客様に最適な機種をご提案いたします。

#### ■ 設置例



お問い合わせは—

**日建リース工業株式会社**  
東京支店 法人事業部  
TEL : 03-6739-7331  
E-Mail: bihin-rental@nrg.co.jp

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-8  
<https://www.nrg.co.jp/nikkenlease/>